

## 勝部市長に聞く 3期目の展望



**PROFILE** 1950年千厩町生まれ。74年岩手県庁入庁。総合雇用対策局長、総合政策室長、県企画理事(県南広域振興局長)などを歴任。09年一関市長選で初当選。趣味は石集め。両親は室根町と大東町の出身。一関市田村町在住 67歳

# I・L・Cを基軸とした 持続可能なまちを 市民と共につくる

今後4年間の市政推進のかじを取る  
勝部修市長に3期目の決意と抱負を聞いた

### 持続可能なまちづくりへの第一歩

私は、市長就任以来、「中東北の拠点都市一関の形成」という言葉を、全てを集約したスローガンとして掲げて、市政運営に努めてきました。

これまで、子育て支援や雇用対策、産業振興、災害に強いまちづくり、県境を越えた大きな枠組みでの連携によるヒトやモノの流れを生む圏域づくりなどに継続して取り組み、中東北の拠点都市に向けて順

調に推移しています。私は、これからの4年間で、一関というまちが明るい未来につながる「持続可能なまちづくりに向けた堅固な第一歩の4年間」にしたいと思っています。

そのために、次の5つを政策の柱として取り組みます。

### ◆I・L・Cの拠点都市としての都市機能の形成

国際リニアコライダー(I・L・C)の誘致実現がいよいよ目前に迫っています。市では、地場産材を活用した研究施設の整備やバイオマス燃料を活用し

た公共交通の整備、研究者の居住環境の整備などを、研究者からの意見を踏まえながら、地域の皆さんと一緒に考え、進めていきます。

### ◆エネルギー循環型施設の整備

当市はバイオマス資源など地域内のさまざまな資源をエネルギーとして循環させる「エネルギーの地産地消」を進めています。「いかす・つくる・つなぐ資源エネルギー好循環のまちいちのせき」の実現に向け取り組んでいます。

現在、狐禅寺地区での一般廃棄物処理施設建設を提案しています。これは、資源エネルギー循環を基本とした産業振興や雇用の創出など、地域振興に資するものとし、これまでのものとはまったく視点の異なる新たな施設にしたいと思っています。

### ◆高齢化社会に対応した社会資本整備

当市の高齢者の割合は、今後も上昇していくと見込んでいます。今後のまちづくりは、高齢者が安全に安心して暮らせる地域づくりという視点か

### ◆子育て支援、若者の地元定着支援

当市では、子供の成長過程に合わせて、保健、医療、保育、教育、就職、結婚などの各分野それぞれが線でつながる切れ目のない一連の施策を推進してきました。それぞれの施策にさらに力を入れ、総合的な視点で子育て支援ナンバーワンのまちを目指します。

また、地域の活性化には若者の力が不可欠です。若者の定着のため、特に第一産業が地域の基幹産業として成り立つようにしていく必要があります。若者がこの一関で働き、家庭を持ち、子育てをし、そしてまちづくりに参画して活躍できる取り組みを進めます。

### ◆地域文化の伝承とスポーツの振興

当市では、南部神楽、室根神社の例大祭や一関大東大原水かけ祭りなど、長い伝統と歴史を有する民俗芸能や祭りが多く伝承されています。

地域文化の伝承を通して、市民の皆さんの地域への愛着や誇りにつなげていきたいと思っています。

スポーツの振興については、日頃から楽しみながら体を動かす習慣が健康増進と地域の活力にもつながっていきます。

市民がさまざまな場面で年齢や性別などに関わらずスポーツに親しみ、関心を高める取り組みを進めていきます。

また、スノーボード競技での世界大会入賞、愛媛国体フエンスングの部での連覇など出身の若者が全国や世界を舞台に活躍しています。当市出身の若者の活躍を市全体で応援し、オリンピック選手を輩出したいと考えています。

### 市民と共に歩む 市政

私の市政運営の基本は、行政サービスの品質の向上を図り行政に対する市民の満足度を高めることです。

そのためには「市民起点」「現場主義」として「市民との対話」が重要です。移動市長室を今

後も継続します。

また、地域協働体が発足し、協働のまちづくりの活動拠点が定着しつつあります。協働のまちづくりがより深く根づくよう各地域、各分野でリーダーとなる「人材」を発掘し、育てることにも力を注いでいきます。

まちづくりは一つの自治体のみで成し得るものではありません。県境にとらわれず、共通する課題を抱える自治体との連携を行政と市民交流の双方から一層進めます。

### 世界を観る眼で 一関を拓く

私は、将来に向けたまちづくりについて、I・L・Cを基軸とした取り組みが不可欠であると考えています。

この4年間を、I・L・Cを中心とした新たなまちづくりのスタートにするため、今、私にできることの全てを注ぎ込む決意です。

一関・平泉地域には、平泉の世界文化遺産や、もち食文化などの「歴史・文化」、世界かんがい施設遺産や世界農業



遺産などの「農業」などをキーワードにした世界に誇れる地域資源が多くあります。これにI・L・Cの世界最先端の「科学」を加え、これらを連携させ、この地を訪れる人の流れを大きく変えていく取り組みを進めます。

「世界の人人々から親しみをもたれる地域」「世界の人人々から信頼される地域」を市民の皆さんとともにつくっていきましょう。